

## 第5回 ピンクリボン・デー in くまがや 記念大会開催によせて

私たちの活動の目標はなんといっても検診率のアップです。現在、日本人女性の12人に1人が乳がんを発症。年間では約8万人が発症し、毎年約13000人が命を落としています。乳がんは、再発や転移の心配から解放されるのに最低で5年、「十年戦争」とも言われます。けれど、正しい知識を持って検診を行い、早期発見につとめれば治る病気でもあるのです。

マンモグラフィーによる検診率はアメリカでは80.4%、フランスでは75.4%ですが(出典:OECD Health Data 2012-Version: June 28)、日本ではわずか24.3%。そんな中、熊谷市20%、行田市20.5%、深谷市27%、北本市12.1%、加須市21%、本庄市14.9%という直近の数字になっています。埼玉県全体では全国で2番目に死亡率が高くなっています。実は検診率を50%に上げると確実に死亡率が下がります。検診率100%を目指し「日本で一番、乳がん検診率の高いまち」にできたらと思っています。「検診を受けるまでがピンクリボン」です。

くまがやピンクリボンの会 代表 栗原和江

今回で第5回目、記念大会として開催いたしました「ピンクリボンデー in くまがや」にお越しくださいまして誠にありがとうございます。当会の趣旨に賛同し、今回に至るまで快く応援して下さった多くの皆様へ実行委員会スタッフ一同、この場をお借りして心から御礼申し上げます。ありがとうございます。

一年に一度開催されるこの日にマンモグラフィーやエコーなどの検診の重要性を知っていただくとともに、乳がんについての正しい知識を得ていただくと幸いです。これからも「ピンクリボン・デー in くまがや」と共に未だ未知の道に啓発活動をしていけたらと思います。今後どうぞよろしくお願いたします。

ピンクリボン・デー in くまがや 実行委員長 大久保由美子



今年もこんなに多くの企業、お店、そして個人の方たちが「ピンクリボン・デー in くまがや」を応援してくれています。

### ●協賛

熊谷市医師会、(一社)熊谷市歯科医師会、社団法人熊谷商工会、クリニカルエステ花苑、株式会社ハルモ、熊谷商工会議所女性会、(公財)熊谷法人会熊谷支店女性部会、埼玉のみどり法律事務所、野口実法律事務所、吉見商事、石山精工、株式会社本島建設、タスキン千戸支店、大石社会保険労務士事務所、せや事務所 瀬谷幸美、ティアラ21 女性クリニック、医療生協さいたま生活協同組合 熊谷生活協同、特定医療法人協会 熊谷外科病院、医療法人藤和会 藤和病院、(公)熊谷くまがやレディースクリニック、大川産科婦科医院、医療法人のりクリニック、ニートーアイクリニック、医療法人三陽会 たけうちクリニック、統合医療ライフクリニック、埼玉医療生活協同組合 羽生総合病院、こくさいクリニック、量竹産科医院、小林産科医院 (村岡)、産血其二産科理事事務所、埼玉北部ヤクルト販売株式会社、NPO法人くまがや小児会、深谷電機株式会社、オリエント鍼灸院、山光化学株式会社、新栄通、新アシスト、新東広不産産、株式会社ニッポクニカル、ほっかいグループ、Beauty GARO、熊谷山デント商会、株式会社クシライ、林表具店、新中島水道、新ピーエービー、慧げん 宇田和孝、新LOOK、小さなホテルセラワイ、新SHAFT、フラキエ代表栗原和江、くまがや親子会、オレオントレイル、東日本メディアコム株式会社、日本生命労働組合熊谷支部、第一生命労働組合、朝倉安田生命保険相互会社、公益財団法人日本健康アカデミー、大和屋 熊谷くまがや、三幸製菓埼玉行田店、森田住宅設備株式会社、Smile Heart、中島、太田久子、橋本博男、中島敦子、金子幸助、栗原和江、栗原英夫、栗原英太、アルファ学院、NPO法人ヘルスカウンセリング学会熊谷支部、株式会社野沢書店、株式会社深谷カーボン、フラオハナカブアイビ (富井節子)、NTTスポーツコミュニティ株式会社、大橋啓吾、アルス園、ビューティー Giken 島田、社団法人熊谷青年会議所、熊谷デザイン設計、熊谷エハラ、新田工務店、熊谷井事務所、東洋通機、真の筑業、熊谷カナヤ、新デイサービス、新小島不産産、村松製菓、アルファミュージック、中沢トリア、松島建築材料、ダイヤホーム、新橋林堂、熊フワワータイム/バレット、トヨタカローラ熊谷深谷店、ソフィアインリッシュスクール、momona! 新田ささ子、新田ダウト、すみれ食堂、熊広氏、伊藤幸子、山崎多賀子、津澤節子、梅田清志、安野秀子、新井隆行、森田和、田島葉子、小川美穂子、Emiko Faford

### ●後援

熊谷市、熊谷市教育委員会、熊谷商工会議所、熊谷市自治会連合会、埼玉弁護士会熊谷支部、社団法人熊谷青年会議所、行田市医師会、鴻巣市医師会、埼玉県社会保険労務士会熊谷支部、法人 金子完大、日本画家 大野百穂、作家 森村誠一、大久保誠一、日本ラグビー協会理事 熊田隆、NPO法人子育てネットくまがや、熊谷市地域子育て支援拠点連絡会、新川菜園村、ピースふみふみぶるクラブ、熊谷新聞埼玉支局、読売新聞さいたま支局、毎日新聞熊谷支局、東京新聞さいたま支局、埼玉新聞社、熊谷高校 PTA、熊谷女子高校 PTA、公益財団法人埼玉県健康づくり事業団、大宮アルディージャ、ママさんプラスくまがや、ママさんプラス埼玉たまま、熊田清志、田園カフェ Mary's Place、熊谷茶屋わさび、熊谷対がん協会、Over Cancer Together ~がんと共にのりこえよう~、NPO 法人キャンサーネットワークジャパン、SHARE 代表 プロディー愛子 (ニューヨーク在住日本人乳がん、御業がん患者支援)、熊谷駅ビル アズ、乳がん体験者の会 KSHS (キチンと手帳、本音で再建)、ピンクリボンきもちも、NPO 法人埼玉乳がん臨床研究グループ

### ●協賛

株式会社あじかん、KEA 工房、コカ コーラーイストジャパン、キンビバレッジ株式会社、埼玉北部ヤクルト販売株式会社、くまがや地域通訳研究会、亀田産科クリニック、生活協同組合バリエーション埼玉、第一生命保険株式会社、株式会社アテランス

### ●協力

サンノバ株式会社、熊田小学校おやじの会、日本生命労働組合熊谷支部、東京海上日動あんしん生命代理店 新アシスト、株式会社ジャパンビバレッジ

くまがやピンクリボン支援オリジナル商品販売/HOSHIKAWA CAFE/ホシカワカフェ/ショコラティエ アヌーク、慧げん

## 広がる「くまがやピンクリボンオリジナル自動販売機」の設置



各企業様、施設様のご協力を得てオリジナル販売機が市内外に多く設置されています。売上金の一部は日本対がん協会と当会の啓発活動費に充てられます。

◆設置場所/クリニカルエステ花苑 (行田市)、大妻嵐山高校、立正大学熊谷キャンパス、大谷接骨院 (村岡)、TMクリニック、大和屋くまがや/産科、医療法人 聖愛会 大塚医院、くまがやクリニック、かみのクリニック、くまがやクリニック、おおしまクリニック (深谷市)、こくさいクリニック (深谷市)、埼玉北部ヤクルト販売株式会社 (本社、本庄市ほか各支店 20ヵ所)、医療生協さいたま熊谷生活協同、須藤産科医院 (旧東沼町)、もりた産科 (旧東沼町)、公産産レディースクリニック、株式会社 SHAFT (深谷市)、保育所 ほっぴーたいむ 壺屋山 (行田市)、森田産科医院、統合医療ライフクリニック (行田市)

## くまがやピンクリボンの会 顧問医

- 亀田メディカルセンター (千葉県鴨川市) 亀田京橋クリニック (東京都中央区京橋) 乳癌科 主任部長 福岡英祐先生
- 埼玉県立がんセンター (北足立郡伊奈町) 病理診断部長、部長 黒住昌史先生
- こくさいクリニック (深谷市) 山下純男院長
- たけうちクリニック (鴻巣市) 竹内隆也院長
- 医療法人おぶこえ会ティアラ21 女性クリニック (熊谷市) 中山政美院長



サバイバー (がん体験者) の経験が  
みんなの希望に変わる。  
検診率 100% をめざして!

# 第5回 ピンクリボンデー in くまがや 記念大会



想いはかたちになり、5年目のピンクリボンデー!

2014.12.7 日 会場/熊谷市立文化センター文化会館 <熊谷駅南口より徒歩5分>  
参加費無料 \*参加者全員にお土産もあります。

●主催/くまがやピンクリボンの会 ピンクリボン・デー in くまがや実行委員会 ●共催/熊谷市医師会

### プログラム

- 12:50~(開場時間:12:20) オープニングセレモニー  
Moment of silence 追悼 山本真女、新井隆子  
※乳がんをこくになった経験の者、生命のために、会場にお集りの皆さまとともに黙祷を捧げます。  
来賓、主催者あいさつ
- 13:35~13:55 オープニングコンサート  
REPRETONE<レプラトーン>  
奥貫史子(ヴァイオリン)、熊井麗音(ピアノ)
- 12:20~16:30 協賛各社、団体様による展示、体験コーナー  
会場/ホワイエ (エントランスホール)  
●小児がん、AYA世代のがんプロジェクト「レモネードスタンド」サンノバ株式会社  
●熊谷市歯科医師会 ●熊谷市美術館 健康チェック ●Beauty GARO  
●プレステクラブ 自己検診グループ 熊ICST ●日本生命  
●最新型検診モデル、ピンクリボンオリジナルグッズ販売、Cave! (ワウ) ~さいたまBEC~
- 15:45~16:30 お楽しみ抽選会 (参加証が「お楽しみ抽選会」の抽選券も兼ねております。イベントが終了するまでお手元にお持ちください)  
【お楽しみ抽選会プレゼント】  
●作家森村誠一サイン入り本<5名様>  
●公益財団法人埼玉県健康づくり事業団 乳がん検診無料クーポン券<15名様>  
●上州屋 反物<1名様>  
●パールギャラリー ネットレス<1名様> プレスレット<3名様>  
●新たかき 日本人形<1名様> フランス人形<1名様>  
●馬車道 2,000円お食事券<10名様>  
●熊ICST できる!乳がん自己検診ブック<10名様>
- 14:05~15:35 講演会  
「ママが生きた証」  
講師:小松武幸氏  
放送作家 1974年若狭県生まれ。テレビ朝日「報道ステーション」のスポーツコーナー、オリンピック、フットボールワールドカップなど、数々のスポーツ番組を手掛ける。乳がんを闘い、写りかたを出版したご自身の実話「ママが生きた証」著者。
- 「キレイは生きる力になる」  
一病中も自分らしく暮らすためのヒント  
講師:山崎多賀子氏  
美容ジャーナリスト 1960年生まれ。2005年に乳がんが発症。石丸 隆典医師、同僚、化学療法、分子標的薬療法、ホルモン療法を体験。現在、月刊「がんサポート」にて「いきいきキレイ」連載中。がん患者の育児サポートのために、各地で美容セミナーや講演を行う。作例と「マンマチアー委員会」を主宰し、協賛で毎月セミナーを開催。NPO法人「キャンサーネットワークジャパン」認定乳がん体験者コーディネーター。
- ホテルヘリテージ四季の湯温泉 ピンクリボン温泉 <5組10名様>  
●Kei Craft/ ころけい デイケアパークラフト<10名様>  
●野中昭子氏 刺し子布巾セット<10名様>  
●名物製作家松本宗貴 小物<多数>  
●イオンシネマ 映画チケット<10名様>  
●電撃倶楽部 Room シャンプーリンス詰め合わせ<数名様>  
【ちびっこ来場プレゼント】  
●深谷電機株式会社 おもちゃ<55名様>

ピンクリボン (Pink ribbon) とは、乳がんの撲滅、検診の早期受診をおすすめるシンボルです。2014年7月現在、日本人女性の12人に1人が乳がんを発症しています。乳がんは個人対がんの問題ではありません。「ママが元気!」「パパが元気!」「お母さんが元気!」「お父さんが元気!」「パートナーが元気!」であることが何の何のの幸せに繋がります。あなたの大切なひとの笑顔を守ってあげてください。

「ピンクリボン・デー in くまがや」は乳がん撲滅のため、検診の早期受診の大切さを女性はもちろん、パートナーとしての男性にも知ってもらいたい、その思いで平成22年から始まったどなたでも参加できるイベントです。乳がん検診率100%を目指して、今年は第5回記念大会を開催します！

毎年10月はピンクリボン月間

日本でのピンクリボン運動のはじまりは2000年頃からと云われています。日本での乳がんの実態を危惧する医師の団体や創業者の企業が啓発のイベントを始め、徐々に各地で広まるようになりました。現在、世界中で10月はピンクリボン月間と定められ、世界の有名な建造物や名所を同時にピンクにライトアップし世界規模のキャンペーンが行われています。世界50ヶ所以上のランドマーク、例えば、ナイアガラの滝、エンパイアステートビル、ピサの斜塔などがライトアップされ、日本では2000年以来、10月1日に東京タワーが、そして2012年からは東京スカイツリーがライトアップされています。



くまがやピンクリボンの会プロフィール

くまがやピンクリボンの会は2008年5月に設立。熊谷市民を中心とした任意団体（登録：熊谷市市民活動支援センター、熊谷市共同歩道をすすめる会）です。（2014年12月現在、会員数161名 ※内サバイバー41名）活動のビジョンは「乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える」というもので、「いつ自分に起こるかわからない、乳がんを自分の問題として意識してほしい」というものです。

くまがやピンクリボンの会が目指すことは...

- \*乳がん検診受診率のアップ。
- \*サバイバー（がん患者）の情報交換、交流の場の提供。（毎月1度、サバイバー茶話会を開催しています）
- \*サバイバーとその家族への精神的ケアをしています。
- \*医療の最新情報の提供をしています。
- \*学校教育の場ががん教育、がん検診への理解を呼びかけていきます。
- \*まちを元気にします。

くまがやピンクリボンの会

●代表：栗原和江 ●副代表：栗原直美・反町奈里

ピンクリボン・デー in くまがや実行委員会

- 実行委員長：久保由美子
- 実行委員：大崎幸恵・渡邊明子・森永嘉子・金子命子・笠原洋子・家永宏美・山崎まゆみ・笠原典子・高橋美佳・中村信子・高橋真澄・岡野高広・小林和代・内田晴美・柳井悦子（くまがやピンクリボンの会加須支部長）・清水陽子・酒井真由美（ピンク色はサバイバー・乳がん患者）



◆E-mail: kumagaya.pinkribbon@gmail.com

◆ホームページ: くまがやピンクリボンの会

「ピンクリボン・デー in くまがや」の歩み archive 2010-2013 歩み

第1回ピンクリボン・デー in くまがやから第4回までJ R熊谷駅、熊谷ビル・アズ、ティアラ21、ニッポーモール3館を拠点に「ピンクリボンウォーク」、「ピンクリボンコンサート」、「ピンクリボン講演」を開催してきました。目を重ねることに啓発活動に賛同、関心をもってくださる一般市民のみならず増え続け、昨年は台風が接近する最中にも関わらず740名の方が参加くださいました。

第1回 <平成22年10月17日(日)>

参加者数 427名  
講演会 演題:「乳がんの予防と治療」  
講師:遠藤 正人先生  
(熊谷総合病院 外科部長・乳がん認定医)

第2回 <平成23年10月30日(日)>

参加者数 597名  
講演会 演題:「乳がんの予防と治療」  
講師:山下 純男先生  
(深谷赤十字病院 外科部長)

第3回 <平成24年10月21日(日)>

参加者数 658名  
講演会 演題:「乳がんの予防と治療」  
講師:山下 純男先生  
(くさいクリニック 院長)

第4回 <平成25年10月20日(日)>

参加者数 740名  
講演会 演題:「がんとお金の話」  
講師:黒田 尚子先生  
(FP・CMJ 認定乳がん体験者  
コーディネーター)



おうちで簡単、自己検診のすすめ!

乳がんは、いくつものがんの中で唯一自分で発見できるがんです。ひと月に一度、日を決めて自己検診しましょう。生理終了後の一週間前後くらいがよいといえます。



まずは、鏡の前に立ち、両手を上げたり下げたりして、両方のおっぱいをじっくり観察します。・左右の乳房の形に変化はないか? ・皮膚にえくぼやひきつれはないか? ・発赤、しこり、ただれはないか? (色の変化ですね) ・乳頭から分泌液はでていないか? (軽く乳首をつまみます) 次に仰向けになり3本の指を使って3本指を揃え(人差し指、中指、薬指)、脇の下からリンパや乳腺を辿るようにゆっくりとやや力を込めて乳首に向かって進ませます。あとは「の」の字を描くようにしてみましょう。わきの下にもしこりがないか調べます。

埼玉県初の「がん教育」は、市民協働「熊谷の力」により実現しました!



熊谷市立高土見中学校1年生

2014年度開催校一覧

熊谷東中	8月28日(木)
大原中	8月29日(金)
大里中	9月19日(金)
玉井中	9月26日(金)
古岡中	10月8日(水)
大塚生小	10月10日(金)
荒川中	10月14日(火)
奈良中	10月15日(水)
妻沼小	10月21日(火)
石原小	10月23日(木)
富士見中	10月28日(火)
富士見中	10月29日(水)
大幡小	10月30日(木)
熊土見中	10月31日(金)
江南中	11月5日(水)
大幡中	12月8日(月)
男沼小	12月9日(火)
太田小	12月11日(木)
栗小	12月12日(金)
妻沼東中	12月13日(土)
三沢小	12月16日(火)
別府中	12月17日(水)
江南北小	12月18日(木)
三沢中	1月20日(火)
長井小	1月28日(水)
妻沼西中	1月29日(木)
中栗中	2月5日(木)
大塚生小	2月19日(木)
妻沼南小	2月20日(金)



アメリカがん協会から特別に提供してもらった「IPU」、授業中3分間時間を取り、子どもたちががんの大きさと速さを体験してもらいます。乳がんに限らずほとんどのがんは1cmになるのに10年かかります。検診では5mmの大きさ(早期発見)で見つけることができます。

【子どもたちからの感想文】

すでに授業を終えた学校から様々な感想文が届いています。ひとつひとつの心のもった文に、拝読するスタッフ一同、涙ぐんでしまいます。どれも丁寧に書かれ、イラストなどで彩られています。各学校先生方のご協力に感謝します。



スタッフはお揃いのピンクリボンTシャツで各学校に伺っています。玉井中学校にて。



熊谷市立大幡小学校6年生 ▶ 熊谷市立高沼小学校3・4年生

**がんトリビア**

運動不足になるとがんになりやすい?

①YES ②NO **YES!**

ピンクリボンマグネットを各校に配布しました。校長室や保健室にあります。

「生命の授業」で使用している「がんトリビア」のフリープ

妻沼小学校3年生感想文より(原文のまま)

- 前のはがきはがんはとっても怖いと思っていました。でもがんもうつらないことがわかってとってもあんしんになりました。
- わたしは、がんという病気のことがよくわかってよかったです。わたしのおとうさんはたばこをいっばい吸っているの、たばこをすわないでほしいです。おとうさんにはいさをしてもらいたいです。わたしは、おとなになってもきょうのことをおぼえて、がんという病気になりたくありません。
- わたしは日本の全国の人たちのなかには、おもしろいがんのやまいでなくなった人たちがいるように、大きい会社ではたいて、かがの力で、どんなやまでもなせる業を作るのがめいになりました。それをきかせてくれたのは、ピンクリボンのみさんです。